スペイン、複数自治州にまたがる地理的表示団体を規定する王令を承認

スペインの新たな王令は国内法をEU基準に整合させ、複数自治州にまたがる地理的表示団体が各対象自治州に評議会を設置できるようにする

2026年11月18日（水）



スペイン閣僚評議会は11月17日火曜日、複数の自治州にまたがる地理的表示に関わる生産者団体の認定と運営に関する法的枠組みを定めた王令を承認した。

閣議後に政府が発表したこの措置は、こうした地理的表示に関するスペインの規則を欧州連合の枠組みに整合させることを目的としている。地理的表示は、特性や評判が特定の原産地と結び付いた製品を識別するためにEUで用いられる品質表示である。

新規則の下では、複数の地域にまたがる保護地理的表示について、その指定範囲に含まれるすべての自治州に規制評議会を設置できる。政府によると、この体制は共同管理を容易にし、生産者と自

治州当局の連携を強化することを狙いとしている。

この王令は、従来、より断片的な規制体系の下で運用されてきた分野について、既存の規則を改定し、一本化するものでもある。政府によると、新たな枠組みは、地理的表示の保護と振興への生産者の参加を広げるとともに、その管理機関における透明性と代表性の向上を目指す。

政府が挙げた権限には、こうした生産者団体が生産と販売を管理し、製品の品質と真正性を守り、指定対象商品の販促や市場での位置付けを支援することが含まれる。この王令は、地域の境界を越えて運営される表示の運営において、生産者団体が日常的な意思決定を担う役割を強化することも目的としている。

この改革は、飲料業界にとって特に重要となる可能性がある。複数の自治州にまたがるワイン、蒸留酒などの飲料の地理的表示では、共通の管理業務を担う団体としてどの生産者組織が認定されるのか、また、製品仕様書や持続可能性に関わる機能、供給管理に関する申請など、機微な問題を誰が扱うのかを、新たな枠組みが左右する可能性がある。

政府は、この措置によって、認定された地理的表示の下で販売される製品を保護し、国内外の市場における経済的価値と評判を支えることで、食品・農業分野全体が強化されるとの見方を示した。スペインには地域の生産に結び付いた保護名称が数多くあり、そのうちいくつかは単一の自治州行政区分に収まらない地域にまたがっている。

この王令は、こうした団体がより効果的に活動できるよう、行政機関と民間部門の連携を深めることも目指している。政府によると、この方針は、認定生産者団体の運営に関する欧州連合の要件や勧告に沿ったものだ。